

The magazine for high net worth individuals

SEVEN

MONEY CULTURE

summer 2004

008

世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネーカルチャー誌
「セブンマネーカルチャー」

パトリックへの道-8
世界が認めた醸造家 スノード 塚本復彦

LOUIS VUITTON CLASSIC
華麗なるクルマたちの競演

特集◎隆起する都市。
メトロポリタンのアジア。

特集

POWER OF ENGLAND

ロンドンの脈動に触れる。





Interview Celebrity Princess Olga

「インタビュー・セレブリティ」第2回は、
このコーナーのインタビュアーである
矢幡聡子さんがプロデュースする
「VITA ROSAプリンセス・オルガ・コレクション」
のため来日された、
ギリシャのオルガ・イザベル王女にお話をうかがいました。

ギリシャ王国 王女 オルガ イザベル
正式名称: Her Royal Highness Princess Olga
Isabelle of Greece and Denmark.

1971年アテネ生まれ。1992年プリンストン大学卒業後、1998年
コロンビア大学建築学科修士修了。フランス語、英語、ギリシ
ャ語に堪能。今般はロンドン、ニューヨークで過ごす。年
に何ヶ月かはパナマで探検や鉱の採集をする。2004年「Vanity
Fair」誌が選ぶ世界のベストドレッサーの一人に選ばれる。
撮影協力: フォーシーズンズホテル丸の内東京
写真: 鈴木英雄 ヘアメイク: 矢の澄生





矢幡聡子 (やはた さとこ)
＝インタビュアー

CORE S LTD. 代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE S LTD. を設立。主な仕事は、国際文化交流事業企画運営、PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。

オルガ王女とのコラボレーションで、「VITA ROSA プリンセス・オルガ・コレクション」が誕生しました。

〇…聡子さんとは5年以内の親友で、お互いの家族同士も知り合っている仲だけれど、こんなふうに仕事でもセッションができて、とても感激しています。

こういったお仕事は、王女にとって初めてのことでしょね。

〇…はい。いままでにもお誘いはありましたが、特定商品のプロモーションをするのはあまり気がすまなくて……。

では、「VITA ROSA」は特例だったと？

〇…私は環境問題に関心があり、今回の話を請けたのも、とても環境にいいバラだと思ったことが大きな理由です。

残念ながら毎年お誘いを受けながら時間がたつてくればバナマの研究所を訪れていないのですが、是非そのお話を聞かせてください。

〇…バナマの研究所は、スミソニア

ン熱帯研究協会と、ウッズホール海洋学研究所との合弁事業で、私の友人が創設したので年に数ヶ月滞在します。私は蝶と蛾のコレクターで、毎日ジャングルを何時間も捜し歩いているのです。

普段はロンドン、パリ、ニューヨークという大都市に住んでいるので、正反対の生活を体験して楽しんでいます。

王女は意外にタフなんですよ。

ところで「VITA ROSA」のお話に戻りますが、これはイタリア語で「バラ色の人生」。生花でありながら一切、水を必要とせず、3年以上も枯れないというブリザーヴド・フラワーなんです。

〇…10年前にフランスで開発されたんですよ。枯れないというのはすごいことだと思います。

特殊な保存液を、バラ自身の吸収力を利用して20日間に渡り吸い込ませています。保存液はエコロジーを重視し、人体や植物、地球環境に害のないものです。バラと一緒にアレシジされている葉やツタなども、同じ方法によって生き生きとした状態が続きますよ。

〇…このバラがいいと思ったのは、環境に配慮されていることのはかに、なんといってもその美しさですね。「VITA ROSA」なら日々の生活に常にエレガントな時間を与えてくれます。この美しさはきっと日本のみならずにも気に入っているだけだと思います。

贈り物にも喜ばれますね。

〇…そうですね。きっと贈り物にすれば、受け取った方は驚かれるでしょうね。

贈り物専用の透明ケースもあるんですよ。器のバリエーションもクリスタル、陶器、ブロンズなど多く、なかにはヨーロッパの庭園をそのまま小さくしたようなアレシジもあります。〇…それなら贈りたい相手のタイプに合わせて選ぶのもいいですし、家の中なら玄関などにちがう「VITA ROSA」を飾っておくのも素敵でしょうね。高貴なバラがいつもそばにあると、気分も違ったものになりそうですね。

これから一緒に沢山のことをしていきたいと思います！ 楽しみにしています。



Interview Celebrity Princess Olga

「インタビュー・セレブリティ」第2回は、
このコーナーのインタビュアーである
矢幡聡子さんがプロデュースする
「VITA ROSAプリンセス・オルガ・コレクション」
のため来日された、
ギリシャのオルガ・イザベル王女にお話をうかがいました。

ギリシャ王国 王女 オルガ イザベル
正式名称: Her Royal Highness Princess Olga
Isabelle of Greece and Denmark.

1971年アテネ生まれ。1992年プリンストン大学卒業後、1998年
コロンビア大学建築学科修士修了。フランス語、英語、ギリシ
ャ語に堪能。幼少時はロンドン、ニューヨークで過ごす。年
に何ヶ月かはパナマで探検や鉱山の採掘をする。2004年「Vanity
Fair」誌が選ぶ世界のベストドレッサーの一人に選ばれる。
撮影協力: フォーシーズンズホテル丸の内東京
写真: 鈴木英雄 ヘアメイク: 矢の澄生





矢幡 聡子 (やはた さとこ)
＝インタビュアー

CORE S LTD. 代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE S LTD. を設立。主な仕事は、国際文化交流事業企画運営、PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。

オルガ王女とのコラボレーションで、「VITA ROSA プリンセス・オルガ・コレクション」が誕生しました。

〇…聡子さんとは5年以内の親友で、お互いの家族同士も知り合っている仲だけれど、こんなふうに仕事でもセッションができて、とても感激しています。

こういったお仕事は、王女にとって初めてのことでしょね。

〇…はい。いままでにもお誘いはありましたが、特定商品のプロモーションをするのはあまり気がすまなくて……。

では、「VITA ROSA」は特例だったと？

〇…私は環境問題に関心があり、今回の話を請けたのも、とても環境にいいバラだと思ったことが大きな理由です。

残念ながら毎年お誘いを受けながら時間がたつてくればバナマの研究所を訪れていないのですが、是非そのお話を聞かせてください。

〇…バナマの研究所は、スミソニア

ン熱帯研究協会と、ウッズホール海洋学研究所との合弁事業で、私の友人が創設したので年に数ヶ月滞在します。私は蝶と蛾のコレクターで、毎日ジャングルを何時間も捜し歩いているのです。

普段はロンドン、パリ、ニューヨークという大都市に住んでいるので、正反対の生活を体験して楽しんでいます。

王女は意外にタフなんですよ。

ところで「VITA ROSA」のお話に戻りますが、これはイタリア語で「バラ色の人生」。生花でありながら一切、水を必要とせず、3年以上も枯れないというブリザーヴド・フラワーなんです。

〇…10年前にフランスで開発されたんですよ。枯れないというのはすごいことだと思います。

特殊な保存液を、バラ自身の吸収力を利用して20日間に渡り吸い込ませています。保存液はエコロジーを重視し、人体や植物、地球環境に害のないものです。バラと一緒にアレシジされている葉やツタなども、同じ方法によって生き生きとした状態が続きますよ。

〇…このバラがいいと思ったのは、環境に配慮されていることのはかに、なんといってもその美しさですね。「VITA ROSA」なら日々の生活に常にエレガントな時間を与えてくれます。この美しさはきっと日本のみなさんにも気に入っているだけだと思います。

贈り物にも喜ばれますしね。

〇…そうですね。きっと贈り物にすれば、受け取った方は驚かれるでしょうね。

贈り物専用の透明ケースもあるんですよ。器のバリエーションもクリスタル、陶器、ブロンズなど多く、なかにはヨーロッパの庭園をそのまま小さくしたようなアレシジもあります。〇…それなら贈りたい相手のタイプに合わせて選ぶのもいいですし、家の中なら玄関などにちがう「VITA ROSA」を飾っておくのも素敵でしょうね。高貴なバラがいつもそばにあると、気分も違ったものになりそうですね。

これから一緒に沢山のことをしていきたいと思います！ 楽しみにしています。